

大橋政雄君 小さい自分の事務所が持てました。

堀川正幸君 今年の初ラウンドで3位になり沢山の果物をいただきました。有難うございました。

本間重満君 ゴルフ同好会コンペ参加しました皆様楽しい一日ありがとうございました。駒形さん優勝おめでとうございます。

駒形実君 北RCゴルフ会に優勝させて頂き、光栄です。有難うございました。

外山晴一君 渡邊様ご講話、ありがとうございます。

佐藤弘志君 渡辺さん卓話よろしくお願いします。

落合益夫君 渡辺守様卓話ありがとうございます。

丸山達夫君 結婚記念日の花、有難うございました。30年ほど、思い出したことがありませんでした。

斎藤正君 佐藤（啓）さん会社設立25周年おめでとうございます。益々のご繁栄を祈念します。

米山奨学会：

五十嵐茂君 神田さんのご努力に敬意を表し更なるご尽力をお願いし頑張ってください様。

星野義男君 神田さんの誠意で。

卓 話： 「警察人生を振り返って」 前新潟県警察本部交通部長 渡邊 守様



本日は三条北ロータリークラブの定例会にお招き頂きまして光栄に思っております。

今回このような席に声がかかったのは、たしか2月ころだと思いますが、佐藤さんからひとつなんでもいいから話してほしいとの依頼を受けましたが、もう本官を卒業するからと強行に固辞をしたのですが、どうか何でもいいから話してくれと言うことで渋々参ったわけであります。

私は、平成3年4年と三条署に副署長としてお世話になりまして、あれから12年経過し、この3月に警察界を卒業したわけではありますが、三条署から機動隊長、警察大学教授、外事課長、警備部参事官、新発田署長、警察学校長、交通部長と12年間で8所属異動したことになります。

現在は、東京電力柏崎刈羽原子力発電所に勤めさせていただいております。

今日は私が感じている危機管理について話してみたいと思っております。

皆様方は企業のトップとして、日頃から危機管理について考えておられることと思いますが、これからの時代はいかに危機に直面した場合どう対処するのかということを考えておけば一番いいことなんです。なかなか忙しくて頭がまわらないことが多いのではないのでしょうか。3月27日ですか、六本木ヒルズの大型回転扉に大阪の溝川涼ちゃん（6歳）がドア枠の間に頭を挟まれて死亡するという痛ましい事案が発生したのは、記憶に新しいところでありますが、この事故は前兆があったにもかかわらず

らず、ビル管理者である大手の森ビルは保安要員を立てるなどの対策を講じていなかった。ましてや六本木ヒルズは、多数の観光客が集まる施設であります。いろいろ理由はどうあれ人災の疑いすら抱かせる事案じゃなかったのではないのでしょうか。現在いろいろな面から当局の調査が行われていることでしょう。

とにかく、ビルやホテルなどが機能性を重視するあまり、利用する側、特に幼児への配慮がかけられている面があるのではないのでしょうか。ただし、高齢社会を意識してか高齢者や身体障害者に対しては、結構安全面で配慮されているところが見られます。

私が現職時代、常に言っていたことは、警察官として

- 1 仕事の基本をしっかりと身につける
- 2 常に問題意識を持って自分の役割を自覚し、責任を持ってそれを果たしていく
- 3 アンテナを高くし、自分の仕事を客観的に見る目を養う
- 4 コミュニケーションを大切に
- 5 高い倫理観とプライドを持つ

ということを言ってきましたが、最終的には受ける取る本人側にあるということでもあります。

折角の機会ですので私が警察大学校で危機管理について、全国の警部（警察署の課長）を対象に授業を担当した時に話したことを述べてみたいと思います。

まず、国の果たすべき基本機能の第1は国民の生命と安全を守ることにあります。

ですからイラクの人質事案も、政府が懸命になって救出にあたった訳であります。福祉社会の実現も経済の発展も、そのすべてが「安全安心の社会づくり」が根底にあってこそ成り立つのでありまして、安全が維持された社会では、この当然のことが忘れられやすい。健康であれば健康のありがたさと大事さが忘れられていくのと同じ類であります。

しかし、さまざまな事故・事件によって安全が破られ、危険をもたらす不安な出来事と兆候が身近に感じられる時代の中で、今や「危機管理」の重要性が国レベルから企業レベルまで叫ばれ最近では家庭や個人の「危機管理」まで重要視されてきているのが実情であります。

警察は社会の安全に関する「危機管理」専門機関であり、危機管理の対象には、国レベル、地方レベル、企業レベル、地域社会レベル、家族及び個人レベルのものがあって、警察は、そのいずれにおいても極めて主要かつ、大事な役割を果たすべきものであります。少なくともその能力を高める努力を怠ってはならないのであります。

特に、企業が社会の中で大きな存在となってきた今日、企業が企業倫理責任を果たし、犯罪や事故への防止能力を高め、良き企業そして市民としての役割を果たす存在となるための啓発力は、安全で健全な社会づくりに大いに貢献するものとなるのであります。

「危機管理」といっても、その奥行きは深く専門性をもち、その手段と施策は多様で幅広いものであっても、原理は極めて単純明白であります。

すなわち「危機管理」は

①生じ得る危機・危険の予測